

## アワセグモ *Selenops bursarius* Karsch

### 【選定理由】

採集・観察例の少ない種である。主に、社寺林のスギ・ヒノキの樹幹に棲むが、確認されている生息地は岡崎市・豊田市と豊川市だけである。古木の伐採による個体数の減少が心配される。

### 【形態】

体長 9～13mm で扁平。体色は茶褐色で、不明瞭な矢がある。歩脚は褐色で黒色の輪紋がある。



豊田市猿投町(猿投神社), 2007年5月20日, 緒方清人 撮影

### 【分布の概要】

岡崎市、豊田市、豊川市から記録されている。

国内では本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

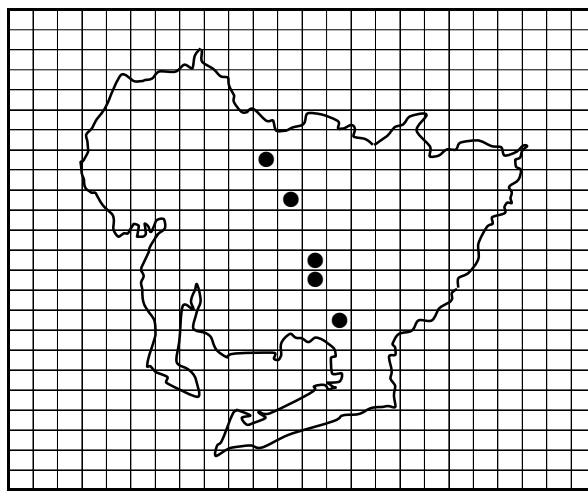
### 【生息地の環境／生態的特性】

確認された3市5地点とも、社寺林のスギの古木に生息している。昼間は樹皮のすき間に潜んでいるが、夜間は徘徊する。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

豊田市の猿投神社の境内では生息密度は高いが、岡崎市と豊川市ではスギの古木が数本しかなく、個体数は非常に少ない。

県内分布図



### 【保全上の留意点】

社寺林の古木を残すこと。生息地での殺虫剤の散布に際しては、十分な配慮が必要である。

### 【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

### 【関連文献】

八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.52,196. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.163. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.552,629. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.403,581. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)